

議会だより

No.79

令和7年5月10日

なかがわ



栃木県那珂川町

テーマ(まなび)
ペースをまもって

主な内容

予算審査特別委員会	(2P～3P)
3月定例会の結果	(4P～6P)
ここが聞きたい！ 一般質問(9人)	(7P～15P)
行政視察、意見書の提出 ほか	(16P～17P)
議会・委員会のうごき	(18P～19P)
キラリ☆まちおこし・編集後記	(20P)

予算審査特別委員会

令和7年度 当初予算

7会計200事業を審査



全議員を委員とする予算審査特別委員会の様子(議会会議室)

予算審査特別委員会

3月定例会において令和7年度各会計予算案が上程され、審査のため議員全員を委員とする予算審査特別委員会が設置されました。

(委員長・高野泉議員、副委員長・矢後紀夫議員)

予算審査は一般会計並びに特別会計、公営企業会計など7会計について、7日から14日までの5日間に行われ、各担当課から令和7年度の新規事業や事務事業の予算内容に対して質疑をもとに審査を行いました。

予算審査日程

◆3月7日(金)

一般会計(会計課、住民課、総務課、企画財政課、税務課)

◆3月10日(月)

一般会計(学校教育課、健康福祉課、農業委員会事務局、子育て支援課)

◆3月12日(水)

一般会計(建設課、産業振興課、生活環境課、生涯学習課、議会事務局)

◆3月13日(木)

一般会計採決・意見まとめ

◆3月14日(金)

ケーブルテレビ事業特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、特別会計等採決・意見まとめ

討 論

各会計予算案の採決にあたり、賛成・反対の討論が行われました。



一般会計など3会計は賛成多数、ケーブルテレビ事業特別会計や水道事業など4会計は全員賛成で可決されました。また、当初予算について9項目に意見を付けました。



予算審査特別委員会での採決の様子

9項目に意見

1

合併20周年記念事業について

合併20周年を迎えるにあたり、町では様々な記念事業を計画していることから、多くの町民が参加できる機会を確保するとともに、町民の記憶に残るような記念事業とされたい。

2

DXの推進について

令和7年度においては、窓口のキャッシュレス化等が進められることから、DXプロモーションプランで位置付けた取組を推進し、町民の利便性の向上を図られたい。

3

公共交通確保対策事業について

公共交通確保対策事業においては、デマンド交通に係る県の運行補助金が減額になっていることから、運行を維持するためにも各課の施策と連携しながら利用者の確保に努められたい。

4

馬頭公園トイレ新築工事について

公園の入口付近に設置されるトイレについては、公園再整備の基本方針にもある、町民の憩いの空間としてふさわしい柔らかな印象となるようコンセプトに沿ったデザインとされたい。

5

不登校対策と校内教育支援センターについて

不登校対策の一環として校内教育支援センターが設置されているが、生徒に対してきめ細かいサポートができるよう、不登校生徒に対する支援の充実を図られたい。

6

部活動の地域移行におけるデマンドタクシーの活用について

部活動の地域移行に際して、バスによる生徒の送迎が計画されているが、自宅からの移動を効率よく行うため、デマンドタクシーの活用を検討されたい。

7

部活動の地域移行について

中学校においては、部活動の地域移行が進められているが、移行されていない部活動もあることから、地域と連携しながら着実な地域移行を進められたい。

8

馬頭広重美術館改修工事について

馬頭広重美術館の改修にあたっては、クラウドファンディングや基金の活用などの資金調達に努めるとともに、リニューアルに向けて戦略性を持ったプロモーション活動を実施されたい。

9

ケーブルテレビ施設光化整備事業について

ケーブルテレビ施設光化整備事業について、町では事業費と財源を試算した経営計画を策定しているが、令和7年度には整備が完了することから、整備後の利用料等を見込んだ経営計画の見直しを検討されたい。

馬頭広重美術館改修費を含む

総額96億8千万円を可決

令和7年第2回那珂川町議会定例会は、3月4日に開会し、会期を17日までの14日間と定め、9名の一般質問のほか、条例改正、令和6年度補正予算の審議などを行いました。

令和7年度の各会計予算については、議員全員による予算審査特別委員会を設置して審査を行い、7会計全ての予算を可決しました。

◆定例会の主な日程◆

- 3月4日(火) 一般質問（矢後紀夫議員、小川洋一議員、大金清議員、小川正典議員）
- 3月5日(水) 一般質問（高野泉議員、川俣義雅議員、神場圭司議員、福田浩二議員、益子純恵議員）
- 3月6日(木) 議案審議、予算審査特別委員会設置
- 3月17日(月) 令和7年度各会計予算の予算審査報告、議案審議 ほか

当初予算の概要

第2次なかがわ「元気」 ビジョン総仕上げ予算

◆令和7年度一般会計予算

（賛成多数 原案可決）

令和7年度の一般会計予算は、小中学校及び認定こども園における給食費の全額免除をはじめ、馬頭広重美術館の大規模改修工事のほか、合併20周年記念事業に関する予算などにより、前年度から7億8000万円増の96億8000万円となりました。

【主な事業及び新規事業】

- ・馬頭広重美術館大規模改修
- ・馬頭公園トイレ新築工事
- ・消防ポンプ自動車更新（松野）
- ・こども家庭センター事業
- ・小川放課後児童クラブ移転
- ・子育て世帯訪問支援事業
- ・支援対象児童見守り強化事業
- ・妊産婦医療費助成等の拡充
- ・学習端末（タブレット）更新
- ・中学校体育館空調設備設置
- ・総合体育館照明改修工事
- ・電子入札システムの導入
- ・ケーブルテレビ事業特別会計への繰出金（第3期光化整備事業）
- ・合併20周年記念事業

令和7年度予算 総額164億197万8千円（前年比2.5%増）

会計名	本年度予算額	対前年度比率
一般会計	96億8000万円	8.8%
特別会計		
ケーブルテレビ事業	12億3800万円	△19.6%
国民健康保険	20億0000万円	△2.9%
後期高齢者医療	2億7500万円	1.9%
介護保険	19億4000万円	△0.5%
計	54億5300万円	△6.3%

水道事業予算	収入	支出
収益的収入及び支出	4億1260万円	4億360万円
資本的収入及び支出	1億6980万円	2億8200万円

下水道事業予算	収入	支出
収益的収入及び支出	4億2798万7千円	4億2098万7千円
資本的収入及び支出	8201万6千円	1億6239万1千円

審査報告

3月17日（定例会4日目）に、予算審査特別委員会に付託された令和7年度各会計予算案の審査結果が高野泉委員長より報告されました。審査の結果は、全7会計の内3会計が賛成多数、4会計が全員賛成により、原案のとおり可決すべきとされました。

また、令和7年度予算における、予算審査特別委員会の付帯意見として9項目を報告しました。（付帯意見は3頁を参照）



予算審査の結果を報告する高野泉委員長(議場)

議会議案

◆財政支援を求める意見書の提出

（全員賛成 原案可決）

給食費の全額免除について、那珂川町議会から栃木県知事及び栃木県教育委員会教育長に対して、財政支援を求める意見書を提出するものです。
（意見書の提出は、17頁を参照）

◆議員の派遣（議員行政調査）

（全員賛成 原案可決）

行政調査のため、以下のとおり議員全員を派遣するものです。
派遣場所 滋賀県愛荘町
派遣期間 4月24日から25日
派遣議員 全議員

補正予算

◆一般会計補正予算（第7号）

（全員賛成 原案可決）

一般会計補正予算は、人事院勧告等に伴う職員人件費の精査のほか、事業完了による事業費の確定などにより8900万円を増額するもので、補正後の予算総額は、96億6000万円となりました。
また、国の補正予算措置による事業の前倒しなど、年度内の完了が見込まれない事業として町道薬

条例改正

◆妊産婦医療費助成に関する条例の一部改正

（全員賛成 原案可決）

助成対象者の申請手続き等の負担を軽減するため、従来の償還払いから現物給付とするものです。

◆ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正

（全員賛成 原案可決）

助成対象者の申請手続き等の負担を軽減するため、従来の償還払いから現物給付とするものです。

指定管理

◆青少年旅行村「那珂川グリーンヒル」に係る指定管理者の指定

（全員賛成 原案可決）

青少年旅行村の管理棟やコテージ等の運営と維持管理について、特定非営利活動法人キャリアアコチ（大田原市若草）を指定管理者として指定するものです。

指定の期間は、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間です。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

（全員賛成 原案可決）

蓮見 和恵氏（再任）
人権擁護委員の推薦について、蓮見和恵氏を再任するものです。

利後沢線及び町道上郷須賀川線の改良に係る経費や、上宿分譲宅地造成事業に係る経費など、1億4950万9千円が翌年度へ繰り越されました。

【質問】 上宿分譲宅地の造成に係る工事が遅れている理由は。

【答弁】 建築資材の確保に想定以上の時間がかかったため。

【質問】 不動産売払収入の立木の場合は。

【答弁】 谷川地区の町有林と旧小川の学校林。

【質問】 小川総合福祉センター脇のグートボール場における改修費の内容は。

【答弁】 整地を行う予定であり、125万円計上している。

第2回 定例会議案採決(3月6日・17日)の状況

賛成:○ 反対:●

		提出	神場圭司	矢後紀夫	高野泉	福田浩二	大金清	川俣義雅	益子純恵	小川正典	鈴木繁	大金市美	川上要一	小川洋一
議案第 1号	人権擁護委員の推薦意見について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 2号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 3号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 4号	那珂川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 5号	那珂川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 6号	那珂川町職員の給与に関する条例等の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 7号	那珂川町国民健康保険税条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 8号	那珂川町妊産婦医療費助成に関する条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第 9号	那珂川町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第10号	那珂川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第11号	那珂川町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第12号	那珂川町立美術館条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第13号	令和6年度那珂川町一般会計補正予算(第7号)の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第14号	令和6年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第15号	令和6年度那珂川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第16号	令和6年度那珂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第17号	令和6年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第3号)の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第18号	令和6年度那珂川町水道事業会計補正予算(第3号)の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第19号	令和6年度那珂川町下水道事業会計補正予算(第3号)の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第20号	財産の取得について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第21号	第2期那珂川町ケーブルテレビ施設光化整備事業(整備工事)請負契約の変更契約の締結について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第22号	まほろばの湯湯親館等に係る指定管理者の指定について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第23号	令和7年度那珂川町一般会計予算の議決について	町 長	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	欠	○
議案第24号	令和7年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計予算の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
議案第25号	令和7年度那珂川町国民健康保険特別会計予算の議決について	町 長	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	欠	○
議案第26号	令和7年度那珂川町後期高齢者医療特別会計予算の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
議案第27号	令和7年度那珂川町介護保険特別会計予算の議決について	町 長	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠	欠	○
議案第28号	令和7年度那珂川町水道事業会計予算の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
議案第29号	令和7年度那珂川町下水道事業会計予算の議決について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
議案第30号	那珂川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
議案第31号	那珂川町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
議案第32号	財産の取得について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
議案第33号	那珂川町青少年旅行村「那珂川グリーンヒル」に係る指定管理者の指定について	町 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
発議第 1号	給食費の全額免除に対する財政支援を求める意見書の提出について	委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
発委第 1号	那珂川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
発委第 2号	那珂川町議会委員会条例の一部改正について	委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
発委第 3号	那珂川町議会会議規則の一部改正について	委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○
発委第 4号	議員の派遣について	委員長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○

※益子明美議長は採決に加わりません。

ここが聞きたい

一般質問！ 矢後紀夫 議員

Q これまでの町政運営について

Q 今後の学校運営について

Q 小学校における通学時の携行品について

福島町長の次期町長選挙への出馬は

(町長) 新たな視点とエネルギーを兼ね備えた方に那珂川町を託したい



矢後紀夫 議員

これまでの町政運営

質問 これまでの11年半にわたる、福島町長の町政への取り組みとその成果は。

答弁 「働く喜びを実感できる町」「我が子の笑顔あふれる成長が実感できる町」「年老いても安心で、充実した生活が実感できる町」をモットーに、町民各位、議会をはじめ、団体や関係機関のご協力により職責を全うできたと考えている。



自らの進退について答弁する町長

質問 10月に行われる次期町長選挙への出馬は。

答弁 町の諸課題への対応等に心残りはあるが、新たな視点とエネルギーを兼ね備えた方にこれから那珂川町を託したいと考え、出馬しない決断をした。残された8ヶ月の職務を精いっぱい全うし、しっかりとバトンを繋ぐことができるよう頑張っていきたい。

今後の学校運営

質問 児童生徒の減少が続いているが、教育移住事業の成果は。

答弁 移住を希望する相談は無いが、今後もハッピースローププランをはじめとする特色ある教育環境に関心を持ってもらえるよう周知に努める。

質問 児童生徒の減少がこれからも続くが、今後の小中学校の統廃合をどう考えているか。

答弁 教育委員会としても大きな課題であり、今後検討が必要であると考えている。

質問 小学1年生から中学3年生までが同じ学舎で学ぶ、義務教育学校の設置が県内でも増えてきているが町の考えは。

答弁 学校の適正配置については、検討委員会など所要の手続きを取り検討する。

小学校の通学時の携行品

質問 小学生のランドセルの適正重量は一般的には体重の10%から15%程だと思われるが、調査したところ当町の1年生は5.7kgの荷物を背負って登校している。このことを町は認識しているか。

答弁 季節や学校によって持ち物が違うため、計測はしていない。

質問 現在、1kgあるタブレットを持ち帰っているが、必ず持ち帰る必要があるのか。携行品軽量化のため宿題や課題を紙ベースに戻してはどうか。

答弁 AIDリルなどで家庭学習が必要ときに、タブレットを持ち帰っている。

質問 軽量リュック型ランドセルを小学校入学時に児童全員に進呈してはどうか。

答弁 多様性が叫ばれる現代、ランドセルは個性の表現の一つであることから、軽量ランドセルを進呈する考えはない。



一般質問！ 小川洋一 議員

Q 当町における農業の振興について

農業の担い手確保は

(町長) 様々な機関・施策と連携し担い手の確保を



小川洋一 議員

農業の振興

質問 高齢化や働き方改革により農業を取り巻く環境は依然として厳しいが今後どのようにして担い手を確保するか。

答弁 南那須地域新規就農者支援対策協議会を通じた新規就農者の確保、また移住施策とも連携し担い手を確保していく。



質問 水田耕作者の高齢化による労働力の低下などにより、早急な対策が必要であると思うがどうか。

答弁 集落座談会においても地域農業の担い手の確保について危惧する声があり、地域全体で地域の農業を考えて行くことも必要と考えている。

質問 第2次総合振興計画において、集落営農を推進することとしており他町では集落営農が進んでいるところもあるが当町においてはどうか。

答弁 地域からの相談があれば組織化に向けて助言等を行う。

質問 農業分野における地域おこし協力隊を採用する考えはあるか。

答弁 就農を見据えた協力隊制度の活用は担い手の確保の観点からも有効であると考えているため調査研究を進めていく。

質問 南那須アカデミーは梨、トマト、イチゴの3種類において生産者を目指す新規就農者を研修生として募集しているが3種類の理由は。

答弁 研修生を受け入れる体制があるため3種類としている。

質問 耕作放棄地の解消に向けた今後の具体的な対策は。

答弁 再生可能な農地を活用していただける方に引き継いでいく。

質問 農地パトロールとはどのようなに行っているのか。

答弁 利用状況調査と荒廃農地の確認調査を一体的に位置づけ、毎年1回夏頃に実施している。

質問 荒廃農地の対策として、那須烏山市では里山再生プロジェクト事業、茂木町ではハーゼルナッツ栽培、市貝町ではオリブ栽培に取り組んでいるが、当町においても検討しているか。

答弁 地域に合った形を農業委員や農地利用最適化推進委員、関係機関と連携し検討する。

質問 町内で取れる農産物を特産品として推進していく考えがあるか。

答弁 当町における多様な農産物は高い評価を得ている。JAなす南では、昨年から里芋の生産拡大に取り組んでいることもあり、新たな特産品として大いに期待している。

質問 那珂川町で生産されたコメを特産品として推進していく考えは。

答弁 宇都宮大学が開発した品種「ゆうだい21」の作付けにも取り組んでいる。引き続き、町の特性を生かしコメの品質向上につなげ、美味しいコメの産地としての確立を目指す。



ゆうだい21

一般質問！ 大金 清 議員

Q 那珂川町総合振興計画について
Q 軟骨伝導イヤホンの導入について

第2次那珂川町総合振興計画の成果と検証は

(町長) 計画の評価を把握するため

町民へアンケートを実施



大金 清 議員

質問 本計画の検証に当たって基本的な基準等があるのか。

答弁 独自の評価として達成状況を100%として0%から25%刻みで5段階に分けて評価している。

質問 まちづくりの重点プロジェクトの検証結果は。

答弁 達成度では、雇用の創出推進では63.9%。結婚・出産・子育て推進では88.9%。新しい人の流れ創出推進では65.9%。住めばみやこ推進では82.1%で、全体の平均は74.3%の達成状況である。

質問 町民アンケートの結果として、意見、要望等の内容は。

答弁 保健、医療、福祉、教育、文化、環境保全の分野では、比較的満足度が高い一方で、産業、生活基盤、生活環境、インフラ整備の分野では、低い傾向にある。

質問 次期計画である第3次総合振興計画の構築に向けた考え方は。

答弁 町の強みを生かし、全国的な課題である人口減少や大規模災害対策、急展するデジタル化や脱炭素化の取組等、持続可能な町政運営を目指す基本構想をまとめた。

質問 SDGs（持続可能な開発目標）を次期計画にも盛り込むのか。

答弁 誰一人取り残さないSDGsの理念や考え方は普遍的なものであり、次期計画にも盛り込む。

質問 次期計画に町民や議会の意見、要望を取り入れる考えは。

答弁 基本構想及び基本計画を取りまとめた後、パブリックコメントを実施し、その際に改めて町民の皆様からのご意見を頂きたい。

質問 次期計画では第2次総合振興計画のまちづくりの重点プロジェクトをどう捉え推進するか。

答弁 現計画の評価・検証を踏まえ、地方創生を戦略的に進めたい。

質問 次期計画に町民憲章を盛り込む考えは。

答弁 当然、町民憲章は記載する。

軟骨伝導イヤホンの導入

質問 役場に来庁した際、窓口で職員の声が聞き取りにくい等の事例はあるか。

答弁 必要に応じて窓口対話支援機器を設置し対応しているため事例はない。

質問 支援機器を使用すると、周辺に声が聞こえてしまう可能性もあるため個人情報保護の観点からイヤホンの導入が必要ではないか。

答弁 内容によっては、プライバシーの問題も生じる場合もある。導入については他自治体の利用状況や効果など調査研究したい。

質問 町民に寄り添ったサービスとして、1つ設置して検証しては。

答弁 来庁者と職員双方の負担軽減につながるため調査・検討したい。

那珂川町総合振興計画

質問 第2次那珂川町総合振興計画の成果と検証は。

答弁 各種施策の進捗状況及び効果を把握するため所管課へヒアリングを実施した。

質問 本計画の検証のための体制、経過の内容は。

答弁 全庁一丸となって作業に当たっている。集計や分析等の業務はコンサル業者に委託している。



一般質問！ 小川正典 議員

- Q 農業における支援策について
- Q イノシシ肉加工事業について
- Q 子育て支援の充実について

農業機械の導入に対する支援策は

(町長) 令和7年度から自走式草刈機等の

導入へ補助金を交付する



小川正典 議員

農業における支援策

質問 大規模農家や生産規模拡大を検討している農家への支援策は。

答弁 農業機械の大規模化等により多額の費用が掛かることから国や県における補助事業について、適宜情報提供を行っている。

質問 小規模農家への支援策は。

答弁 園芸作物振興対策事業や農作物鳥獣被害防止対策事業などに係る経費の補助を行っている。

質問 園芸作物振興対策事業での機械導入支援の内容は。

答弁 栽培に必要な畝たて機や収穫機などの導入時に補助金を交付している。

質問 自走式草刈機やトラクター用モアの補助金を受けられる対象者は。

答弁 補助対象者は、農業を営む個人、農業法人、集落営農組織としている。

質問 補助金の範囲は。

答弁 補助率はそれぞれ2分の1で、自走式草刈機10万円、トラクター用モアは50万円を限度額とする予定である。

イノシシ肉加工事業

質問 捕獲イノシシの受け入れ再開時期の見通しは。

答弁 豚熱感染に対応する施設運営のマニュアル及び豚熱検体採取のための手順書等の精査・修正を進めており、早期の再開に向けて関係機関と調整を行う。

質問 マニュアルや手順書はいつまでに完成させるのか。

答弁 県関係部局と打ち合わせを5回程行っているが、整合性が取れていない状況にあり完成時期は未定である。

質問 新商品の開発に取り組んでいるが、イノシシ肉の販売促進に向けた町の姿勢は。

答弁 ウインナーやジャージャーなど町内外の飲食店や旅館などへ販売を行っており、首都圏で開催されるイベントで特産品として販売し、那珂川町のイノシシ肉を広く知っていただけるよう努めている。

子育て支援の充実

質問 小さなお子さんを抱える家庭に、紙おむつ購入費用の一部を助成する考えがあるか。

答弁 育児パッケージ贈呈事業の中でも実施しているため、事業の効果を検証し検討していく。

質問 育児パッケージは、出産時1回であり、現在の1歳児、2歳児97名に年間3万円助成しても、総額300万円である。再度、助成する考えがあるか伺う。

答弁 保護者が育児する上で何を求めているか検証しながら、調査研究する。

質問 放課後児童クラブの利用減免は、第2子、第3子同時利用が条件であるが、条件を緩和する考えは。

答弁 経済的負担の軽減及び子育て支援策の充実の観点から検討する。

質問 インフルエンザ予防接種費用を一部助成しているが、2回接種となっている13歳未満の助成を引き上げる考えは。

答弁 近隣市町の状況を調査研究し検討する。

一般質問！

高野 泉 議員

Q 企業誘致の推進について
Q サテライトオフィスの運営について

新たな視点を踏まえた企業誘致活動に

取り組む考えは

(町長) 効果的な誘致活動推進のため、

現状に即した手法を検討していく



高野 泉 議員

企業誘致の推進

質問 町が取り組んでいる企業誘致の現状と課題は。

答弁 パンフレットを作成・配布しているほか、町ホームページでのPR、栃木県主催の「栃木企業立地・魅力発信セミナー」において、立地を検討している企業に向けてPRを行っている。また課題としては、高速道路のICまで距離があるため、輸送を効率化した企業誘致は条件が厳しい。

質問 住環境の確保なども企業誘致に必要と考えるが、新たな視点を踏まえた誘致活動に取り組む考えは。

答弁 住環境の確保は、那珂川町地域資源情報バンクの活用が考えられ、庁内関係各課との連携が必要になる。工業団地への企業誘致だけではなく、個人や小規模事業者の支援としても新規出店支援事業や空き店舗等活用事業に取り組み、働く方を支援していく。

質問 企業に対して町独自にアプローチしていく考えは。

答弁 金融機関や既立地企業など、企業の情報やニーズを把握している関係機関と連携した活動を行っている。引き続き連携して、企業誘致推進のための体制を調査研究していく。

質問 今後、企業誘致をどのように進めていくのか。

答弁 県や金融機関、既立地企業など関係機関と連携を密にし、企業の情報やニーズの把握に努める。また、工業団地への誘致だけではなく、新たに起業を考える方に対する創業支援、既立地企業に対する企業立地奨励金などの経営支援を継続して実施し、企業の誘致と産業の振興を進めていく。

サテライトオフィスの運営

質問 お試しサテライトオフィスの利用状況は。

答弁 今年度は現時点で1件の利用があった。

質問 事業継続に対する町の考えは。

答弁 必要な事業と捉え、今後利用者増加に向け、調査・研究し、事業の継続について検討していく。

質問 子育て支援センターや田舎暮らし体験住宅等の他の施設と連携していく考えは。

答弁 利用者の増加に向けた他施設との連携について、調査・研究を進めていく。

質問 テレワーク環境の提供だけではなく住環境の受け入れ体制を整備する考えは。

答弁 住環境の整備については、いきいき田舎暮らし体験住宅が該当すると考える。お試しサテライトオフィスの利用をきっかけに、その先の移住定住につながるような取組も行っていきたい。



お試しサテライトオフィス



一般質問！ 川俣義雅 議員

- Q 訪問介護の存続について
Q 学校給食費の無償化について

訪問介護存続のため、基金を使うのは今ではないか

(町長) 財源の使い方として適切か検討したい



川俣義雅 議員

訪問介護の存続

質問 介護が必要になっても自宅で暮らしたい人はどのくらいいるか。

答弁 アンケートでは5割を超える。

質問 希望が叶うように、町は努力してほしい。

答弁 事業所と話し合い、対応していきたい。

質問 現在、訪問介護事業所を利用している町民は。

答弁 町内事業所を約60人。町外事業所を約40人が利用している。

質問 訪問介護員（ヘルパー）の人材は足りているか。

答弁 人材不足は課題であり、新規採用は難しいと聞いている。

質問 政府は「訪問介護事業は、利益が大きい」などを理由に昨年4月報酬を引き下げたが、妥当だと思うか。

答弁 利益について詳細は把握していないが、地方ではそぐわないと感じている。

質問 町にある4つの訪問介護事業所の経営状況はどうか。

答弁 把握できていない。

質問 全国的に訪問介護事業所が減っており、継続してサービスを受けられるような体制の構築については町に責任があると思うが。

答弁 事業所から実態を聞き、町の対応を検討したい。

質問 新潟の村上市では報酬引き下げ前との差額を介護保険の基金を使って支援している。町にも約6000万円の基金があるが、今こそ使うべきではないか。

答弁 財源の使い方として適切か検討したい。

質問 介護報酬引き下げを見直すよう全国町村会に働きかけて政府に要望してもらいたい。

答弁 要望があったことを伝えた。

学校給食費の無償化

質問 令和7年度から無償化の方針に変えた経過は。

答弁 子育て世帯の経済的負担の軽減、少子化対策として無償化を決めた。

質問 教育民生常任委員会に説明がなかったのはなぜか。

答弁 明確ではない状況であったため説明できなかった。

質問 新聞掲載前に説明があるべきではないか。

答弁 掲載は教育委員会としては依頼していない。掲載される認識があれば相応の対応をした。

質問 無償化にして、給食の質を維持できるのか。

答弁 品質を維持し、材料費の高騰分も含めて無償化を実施する。県に財政支援の要望をしている。

質問 これまで以上に地元産食材を増やしてもらいたい。

答弁 今年度は2品目増やして24品目になっている。少しでも多く地元産食材を使用できるよう検討している。

質問 子どもたちが自ら食材を作ることができるよう学校に要請してはどうか。

答弁 食育を展開しながら教育活動を進めたい。

質問 有機栽培に取り組んでいる人たちに協力してもらいながら、給食に取り入れてほしい。

答弁 いくつか課題があるが、今後検討していきたい。

一般質問！ 神場圭司 議員

Q 空き家バンクの運営について

交渉中のトラブルにおける町の責任は

(町長) 交渉に入った時点で町の手を離れているので責任はない



神場圭司 議員

質問 空き家バンクの登録物件を増やすため、町ではどのような取り組みを実施しているか。

答弁 固定資産税納税通知書に案内チラシを同封し定期的に周知を行っているほか、今年度は空き家物件登録説明会を開催した。

質問 空き家バンク事業をシルバー人材センターに業務委託してはどうか。

答弁 調査研究の上、検討する。

質問 空き家バンクに対する関心を高めていく必要があるが、空き家バンクの周知における課題は。

答弁 案内チラシを固定資産税納税通知書への同封、空き家物件登録説明会、町のホームページ、広報誌等を通じて周知を図っているが、空き家所有者からのご協力が得られず、登録件数が少ない状況。効果的な周知方法については調査研究を進める。

質問 専門家による空き家バンクに関するセミナーや講演会などは考えているか。

答弁 現時点ではそのような考えはない。

質問 町内の空き家を巡る、「空き家ツアー」の実施はどうか。

答弁 今のところ検討していない。

質問 空き家バンクの充実を図るため、空き家バンクを介してマッチングをした方などに、アンケート調査を実施する考えは。

答弁 物件登録や利用登録の際に、申請者から目的や希望する条件などの意見の聞き取りを行っている。また、交渉の結果、不成立になった場合は仲介業者からその理由を聞いて確認している。これらの手続きにより、登録者のマッチングに係る事情を把握しているため、現在のところアンケートを実施する考えはない。

質問 マッチングされなかった申請者の不満や課題等の問題点を仲介業者からの報告だけではなく、町が直接確認した方がよいと考えるが。

答弁 交渉段階になった際には仲介業者を介しているの町は携わっていない。マッチングの成立は、交渉を希望する方の条件が合ったからであり、あえて確認する必要はないと考えている。

質問 トラブル等があった際のため町は空き家バンクの利用者に対し責任をもって仲介の立場をとるべきと考えるが。

答弁 交渉に入った段階で町の手を一旦離れているので、交渉トラブルについての責任はない。

空き家バンクの運営

質問 令和2年度から令和6年度における、空き家バンクの成立件数は42件となっており、さらなるマッチングが求められるが、成立件数を増やすための施策は。

答弁 空き家を活用したい方の様々な条件に合う物件を登録しておくことが必要となることから、多くの空き家物件を登録し希望者の選択肢を増やしていく。



一般質問！

福田浩二 議員

Q ふるさと納税について

ふるさと納税で受け入れた寄付の使い道は

(町長) 貴重な浄財を効果的に活用していく



福田浩二 議員

ふるさと納税

質問 ふるさと納税の今年度の寄付見込み額は。

答弁 個人からのふるさと納税で約2800万円、ガバメントクラウドファンディングで約200万円、企業版ふるさと納税で約500万円、合計で3500万円を見込んでいます。

質問 ふるさとの納税に関する中間事業者が変更になったが、効果は。

答弁 県共通の返礼品の追加が可能となり品数が増えたことで返礼品の充実が図られたと考えています。

質問 返礼品が増えたとのことだが、評判はどうか。

答弁 件数、金額等も順調に伸びているため、良い効果が出ていると考える。

質問 新たな中間事業者の実績は。

答弁 全国で20自治体と契約しており、県内の自治体も含まれる。

質問 打ち合わせの回数は。

答弁 定例的な打ち合わせを月に1回開催している。その他の相談は随時行っているため回数は把握していない。

質問 中間事業者からはどのようなアドバイスを受けているのか。

答弁 今年度ポータルサイトを1件追加している。また、新規登録に係るキャンペーンなど寄付者に訴えかけるような取組等についても、アドバイスをいただいている。

質問 茨城県の境町では、ふるさと納税の返礼品としてコメの需要が高いと聞いているが、中間事業者へ提案してはどうか。

答弁 事業者と調整し検討していきたい。

質問 那須烏山市では、ふるさと納税寄付額を大幅に増やしているが、町はどう感じているか。

答弁 寄付者にとって魅力的であったと推察する。今後は情報交換等を行い参考にしていきたい。

質問 新たな返礼品の開発は考えているのか。

答弁 中間事業者への委託業務の中に、新たな返礼品の開発・追加も含まれている。今後、中間事業者を交えながら、町内の事業者と調整を図り、新たな返礼品の開発をしていきたい。

質問 寄付金の使い道は。

答弁 令和5年度末時点の実績では、2億9000万円の寄付金を受け入れた。主な充当事業は、小川総合福祉センター敷地内の遊具設置費用やいきいき田舎暮らし体験住宅の設備費用、小学校の外国語指導助手設置費用などに活用させていただいた。近年では、認定こども園に設置した遊具に充当している。



設置したこども園の遊具

質問 現在、ふるさと納税関係の基金は総額で約3億あるが、今後活用する予定はあるのか。

答弁 基金の用途や目的に合わせて活用を図っていく。

一般質問！ 益子純恵 議員

Q 若者、子育て世代に選ばれる視点で考えた移住定住について
Q デマンドタクシーの利便性向上について

町民のニーズに応えるデマンドタクシーのダイヤ見直しを

(町長) 運行ダイヤの見直しについて運行事業者と調査研究したい



益子純恵 議員

デマンドタクシーの利便性向上

質問 当町の重要な交通手段であるデマンドタクシーの今後の在り方について町の考えは。

答弁 利用者のニーズ把握に努め、可能な限り利便性を向上させるとともに、運行の維持、継続をしていきたい。

質問 現在のダイヤでは帰りの便までの待ち時間がネックになっている。町民からの意見は寄せられているか。

答弁 町民アンケートでは平日の運行本数増便を要望する回答が13%あった。

質問 馬頭高校の運営協議会でもデマンド交通への意見が出されたと聞くが、町は把握しているか。

答弁 高校生の下校時の利用について意見があったと聞いている。

質問 運行の効率性・町民の利便性向上のため、A・オンデマンド交通を導入する考えはあるか。

答弁 サービス維持のためには公共交通に係る新技術の活用は重要であると考え。先進自治体を参考に継続的に調査研究していく。

質問 現在の受付システムはいつ導入されたものか。

答弁 平成22年の運行開始時に導入したもの。

質問 高齢化を考えると、さくら市の成功事例である交通プラスαのコミュニケーションの場の創出として福祉分野との連携が必要であると考え。各課横断的に施策に取り組む必要があるのでは。

答弁 公共交通と福祉分野の連携は興味がある意見である。さくら市等の先進事例を参考に調査研究していく。

子育て世代等への移住定住施策

質問 次期総合振興計画において若者・子育て世代に選ばれる移住定住施策をどう進めるのか。

答弁 アンケートでの意見を生かし重点的に取り組む。

質問 消滅可能性自治体の脱却のため、若年女性に向けた支援、施策を次期計画内に位置付ける事が必要と考えるが。

答弁 次期計画においても人口減少は一番の課題。重点的に取り組む施策として位置付けたい。

質問 官民問わず地域振興・まちづくりを一緒に進めてくれる専門的知見を持った戦略アドバイザーの委嘱を望むが町の考えは。

答弁 アドバイザーの位置づけ、役割、どういう人材を委嘱するかなど調査研究を進めたい。

質問 ふるさと回帰支援センターでの周知活動は今後どのような戦略で臨むのか。

答弁 今年度も地域おこし協力隊と協力してイベントの開催、PRを行っている。ふるさと回帰支援センターとの関係を深め、移住定住の促進を図られるよう取り組みたい。

茨城県境町を視察 教育民生常任委員会

1月30日に、教育民生常任委員会（6名）は、茨城県境町における子育て支援施策や英語教育の取り組みなどを視察しました。

子育て世帯に寄り添う施策

境町では、民間資金などを活用した子育て世帯向けのマンションや戸建て住宅を建設しているほか、子どもが遊べる大型遊具などに加え、ワーキングスペースやキッチンなどが併設された子育て支援センターを整備し、子育てしやすい環境整備に取り組んでいます。

グローバルな英語教育

子どもたちの英語力を高めるため、境町ではスーパーグローバルスクール事業に取り組んでいます。

この事業では、小中学校の外国人英語講師の増員をはじめ、英検受験料の補助や英検会場を増やすなどの取り組みを実施しており、子育て世帯の移住を後押ししています。



英語教育の説明を受ける



子育て支援センターの屋外型遊具

茂木町を視察 総務産業常任委員会

2月5日に、総務産業常任委員会（7名）は、茂木町が取り組んでいる移住定住施策とマルチワーク事業などを視察しました。

町内事業者の人手不足解消

茂木町では、人口減少等により町内事業の人材不足が深刻化していることから、「もてぎマルチワーク事業協同組合」を立ち上げ、道の駅や観光農園、飲食店などに労働者を派遣する人材派遣事業を実施しています。この事業は、人口減少が進む地域の担い手確保の一環として総務省が進めているもので、栃木県内では、茂木町が初めて実施した事業です。

相談窓口で移住をサポート

移住定住の促進では、移住お試し住宅や子育て支援住宅を建設し、町内への定住促進を図っているほか、サポート窓口を設置して移住を希望する方への相談支援等を行っています。



もてぎ暮らしサポートセンター

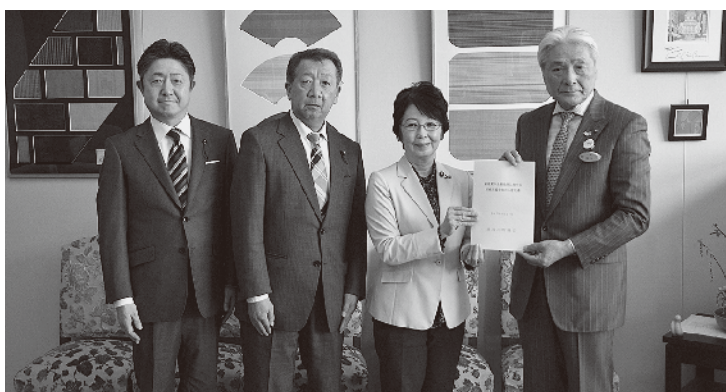


もてぎマルチワーク事業の説明を受ける

福田富一知事に

意見書を提出

3月定例会において議決した、給食費の全額免除に対する財政支援を求める意見書を、3月27日に福田富一知事と阿久澤真理教育長に提出しました。議会を代表して益子明美議長と福田浩二副議長が知事室を訪問し、那珂川町が給食費の全額免除に至った経緯や県による財政支援の必要性などを要望しました。



福田富一知事に意見書を提出

給食費の全額免除に対する財政支援を求める意見書

急速に進展する少子化により、子ども・子育て施策への対応は先送りの許されない課題であり、国においても子育て施策の具体化が進められているところである。

学校給食は、学校給食法第1条において「児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものである」とされており、子どもたちにとって大切な要素である。

近年の国際情勢を背景とした物価高騰によって、町民生活が厳しくなっている中、子育て家庭では、教材費や被服費、修学旅行積立金等の多くの教育費を負担しているが、とりわけ給食費は大きな負担となっている。

そのため、多くの自治体で給食費の免除に向けた検討が行われているものの、人件費や、高騰する材料費及び燃料費などにより、財政が圧迫されるなどの懸念があり、解決すべき問題も多く、実際に踏み切れない自治体も少なくない。

当町においては、令和7年度から、認定こども園及び小中学校における給食費の全額免除を実施する予定であるが、自治体における財源の確保が大きな課題となっている。

よって、県においては、給食費の全額免除を推進するため、十分な財政支援策を講じるよう強く要望する。

議会のDXとは

講師 長内紳悟氏

3月28日に、地方公共団体政策支援機構代表の長内紳悟氏を講師に招き研修会を開催しました。研修会では、政策運営とデジタル活用と題して、タブレット端末を活用し、データに基づいた町の現状を把握することで、必要な政策の議論ができること話がありました。



デジタル活用について講義を受ける

議会広報モニター からのご意見・感想

議会広報モニターさんから寄せられた議会だより第78号(前号)に関するご意見・ご感想について、一部をご紹介します。

○表紙に関するご意見

表紙の議会を見る中学生の背中がたのしくすてきだと思いました。また、中学生の感想がとも良かった。

○その他議会だよりに関するご意見

議会傍聴など今後行われる予定に関して日付や曜日を掲載していただけると分かりやすくてよいと思いました。

委員会より…

傍聴のご案内は、議会だよりの裏表紙(キリリまちおこしの右下)に記載しています。

また、定例会の詳細な日程等は、町HPに掲載していますので是非ご覧ください。

○議会活動に関するご意見

中学生の傍聴については、とっても良いことだと思います。中学生・高校生の活動は今後も継続していく事をお願いします。

中学生の議会傍聴や高校生、町民との意見交換会など大変興味深く読ませていただきました。町をもっと良くしたいという参加者の思いが伝わり、議会の皆さんが真摯に明るく受け止めてくださったのも印象的でした。(要約)

議会活動のなかで議員研修や行政視察、他町議会の視察来町などがあるが、それに対して議員の考えや学んだことなどを紙面を通して町民に伝えることをした方がよいのではないかと委員会より…

議員研修や行政視察などの議員活動で得た知見をもとに、一般質問やその他議員活動に活用しております。また、議会報告会などでその成果等をお伝えしていければと考えております。

《常任委員会の経過》

教育民生常任委員会

開催日 2月17日

1月30日に実施した行政視察(茨城県境町)のまとめのほか、所管する担当課から各種計画の策定や令和7年度の事業等について説明を受けました。

◆土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正の概要について
【生活環境課】

盛土規制法の施行に伴い、土砂の埋め立てや土地造成時の切土盛り土の規制における所要の改正について説明がありました。

◆災害廃棄物処理計画(案)について
【生活環境課】

災害により町内で発生する災害廃棄物の発生量や、処理方法等をまとめた災害廃棄物処理計画案について説明がありました。

◆認定こども園給食費の全額免除について
【子育て支援課】

令和7年度から実施される認定こども園の給食費全額免除について

て、事業概要の説明がありました。

◆学校給食費の全額免除について
【学校教育課】

令和7年度から実施される小中学校の給食費全額免除について、事業概要の説明がありました。

◆社会教育施設等再編計画(案)について
【生涯学習課】

老朽化した図書館や小川公民館について、今後の再編や整備方針などをまとめた再編計画案について説明がありました。

◆体育施設再編計画(案)について
【生涯学習課】

体育館や運動場などの体育施設について、経年劣化の状況や今後の整備方針などをまとめた再編計画案について説明がありました。

◆馬頭広重美術館施設改修計画の進捗状況について
【生涯学習課】

大規模改修が計画されている馬頭広重美術館について、改修に向けた事業の進捗状況や改修に係る寄付の募集状況について説明がありました。

《特別委員会の経過》

議会改革特別委員会

開催日 2月12日

第1小委員会を開催し、議会業務継続計画の策定に関する協議を行いました。

開催日 2月18日

第2小委員会を開催し、活動量調査の結果や議員定数の見直しに関する協議を行いました。

開催日 3月17日

議会改革特別委員会を開催し、活動量調査に基づく議員報酬の見直しのほか、議員定数に関する協議を行いました。

開催日 4月16日

第2小委員会及び議会改革特別委員会を開催し、議員報酬の見直しのほか、議員定数や政務活動費に関する協議を行いました。



議会広報特別委員会

開催日 3月26日

議会だより第79号（当号）発行のため、編集会議を行いました。

開催日 4月15日

議会だより第79号（当号）発行のため、編集会議を行いました。

開催日 4月22日

議会だより第79号（当号）発行のため、編集会議を行いました。



議会広報特別委員会の様子

議会のうごき&内容

5月

10日 教育民生常任委員会
2日 総務産業常任委員会
1日 議会だより79号発行

4月

25日 議会広報特別委員会（第13回、第79号編集）
24日 議会議員行政調査（1日目・滋賀県愛荘町）
22日 議会議員行政調査（2日目・滋賀県愛荘町）
16日 議会改革特別委員会
16日 議会改革特別委員会第2小委員会
15日 議会広報特別委員会（第12回、第79号編集）

28日 議員研修会
26日 議会広報特別委員会（第11回、第79号編集）
25日 南那須地区広域行政事務組合議会臨時会
17日 議会改革特別委員会
17日 令和7年第2回議会定例会（議案審議）
14日 予算審査特別委員会
13日 議会全員協議会
13日 予算審査特別委員会（4日目・一般会計）
12日 予算審査特別委員会（3日目・一般会計）
10日 予算審査特別委員会（2日目・一般会計）
7日 予算審査特別委員会（1日目・一般会計）
6日 令和7年第2回議会定例会（議案審議）
5日 令和7年第2回議会定例会（一般質問）
4日 令和7年第2回議会定例会（一般質問）

3月

26日 南那須地区広域行政事務組合議会定例会
25日 議会運営委員会（3月定例会）
25日 議会全員協議会
18日 議会改革特別委員会第2小委員会
17日 教育民生常任委員会
12日 議会改革特別委員会第1小委員会
10日 議会だより第78号発行

2月

Fitcom

代表取締役

長山 奨さん
(小砂)なかちゃん
が聞きました。Q 今はどんな活動をして
いるの？A アスレティックトレー
ナーとして、ジムの運営な
どスポーツに関わる仕事を
しているよ。Q トレーナーはいつから
やっているの？A 大学の時に駅伝競走部
にトレーナーとして入部し
たから18歳からかな。Q トレーナーを始めた
きっかけは？

A 高校1年生の時に怪我
をしてしまい、長期間走れ
ない時期があったんだ。そ
の時にサポートしてくれた
トレーナーに憧れて、「怪
我でスポーツができない人
を減らしたい」と思ったの
がきっかけかな。

Q トレーナーをやってい
て嬉しかったことは？A 携わっている選手やお
客様に感謝されたときか
な。あとは、その選手が長
い怪我から復帰したときが
嬉しいね。Q これからの活動はどん
なことをしていきたい？A 多くの人に体を動かす
楽しさを知ってもらいた
いし、体を動かす機会を増や
していきたいね。そのため

～ 長山さんの経歴 ～

那須拓陽高等学校陸上部に所属し、3年時に部長として栃木県駅伝大会優勝、全国高校駅伝大会9位の成績を収めた。高校卒業後は、帝京大学に進学し駅伝競争部の学生トレーナーとして活動。現在は「Fitcom」を設立し、スポーツジムを経営するなど活躍。



に、地域や自治体の力をお
借りしながら、運動の楽し
さを伝えたいと思っている
よ。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。

あなたも傍聴してみませんか。

次の定例会は、6月3日(火) 開会
(令和7年第3回議会定例会)の予定です。

議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第2回3月定例会の

議会傍聴者数

4日	15人
5日	6人
6日	2人
17日	1人

●表紙写真

陸上競技の練習

(烏山高校金井キャンパス)

南那須陸上競技教室では小学生や中学生の子どもたちが一生懸命練習をしています。コーチに走り方などのアドバイスをもらいながら長距離走の練習をしている様子です。

編集後記

新緑の風が心地
よい季節となりま
した。

五月を迎え、地域の皆様が元気に活動される様子を拝見することができ、大変嬉しく思います。広報委員としての任務を担い、一年が過ぎました。この一年、委員長をはじめとする委員の皆様と力を合わせ、地域の皆様にとつてより分かりやすく、親しみやすい広報誌をお届けできるよう努力を続けてまいりました。一文一句、どのように議会活動を皆様に分かりやすくお伝えできるか、日々真剣に考えながら取り組んでおります。広報誌を通じて、議会活動を身近に感じていただければ幸いです。

また、新たな発見のきっかけとして広報誌をご活用ください。さらに、皆様の声を反映した広報誌づくりを目指して参りますので、記事へのご感想やご意見がございましたら、ぜひお気軽にお寄せください。

最後になりますが、「議会活動」についてのご感想やご意見も併せてお待ちしております。

議会広報特別委員会

委員 高野 泉

過去の議会だよりはこちらの二次元コードで見られます。

那珂川町ホームページ <https://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>